



化学部門で「イオン交換樹脂による産業界での液体処理の最近動向」 に関する講演会を開催

【概要】

2024 年 1 月 9 日（火）に、理工学部化学部門の主催により、室町ケミカル株式会社
の出水 文志 氏による講演会を開催しました。

【本文】

2024 年 1 月 9 日（火）に、理工学部 9 号館 6F 609 セミナー室にて、室町ケミカル株式会社の出
水 文志 氏による「イオン交換樹脂による産業界での液体処理の最近動向」と題した講演会を開催
しました。本講演会は西九州化学工学懇話会主催のもと、化学部門 大渡 啓介 教授の企画により
開催されました。

出水氏は、国内のポンプメーカーで 35 年にわたりイオン交換樹脂を用いた原子炉の水処理に携
わり、現在は同社でイオン交換樹脂を用いた業務を継続されています。昨秋に福岡大学で開催され
た化学工学会第 54 回秋季大会において、大渡教授が企画を担当した分離プロセス部会主催の産業
セッションで推薦講演をしていただいた際に、講演時間がわずか 15 分であったにもかかわらず非
常に分かりやすく興味深い講演であったため、あらためて本学でご講演いただきました。

今回の講演では、自社の簡単な紹介に続き、①高純度イオン交換樹脂、②高架橋度イオン交換樹
脂、③耐熱性イオン交換樹脂、さらには最近のトピックスとして④PFAS(ポリフルオロアルキル化
合物)吸着用イオン交換樹脂と⑤リチウム回収用吸着剤について説明いただきました。さらに、純
水や超純水の製造が難しい理由、ポリマーの架橋度を高めることによるイオン交換樹脂の酸化抑制
などの話題についても触れ、その反応機構についても説明いただきました。目からうろこが落ちる
話題ばかりで、参加者から多くの質問が寄せられ、予定時間を 40 分超過するほどの盛況でした。

講演は対面のみで行われ、講師と化学部門の教員、学生を含めて 21 名が参加しました。



出水氏による講演の様子